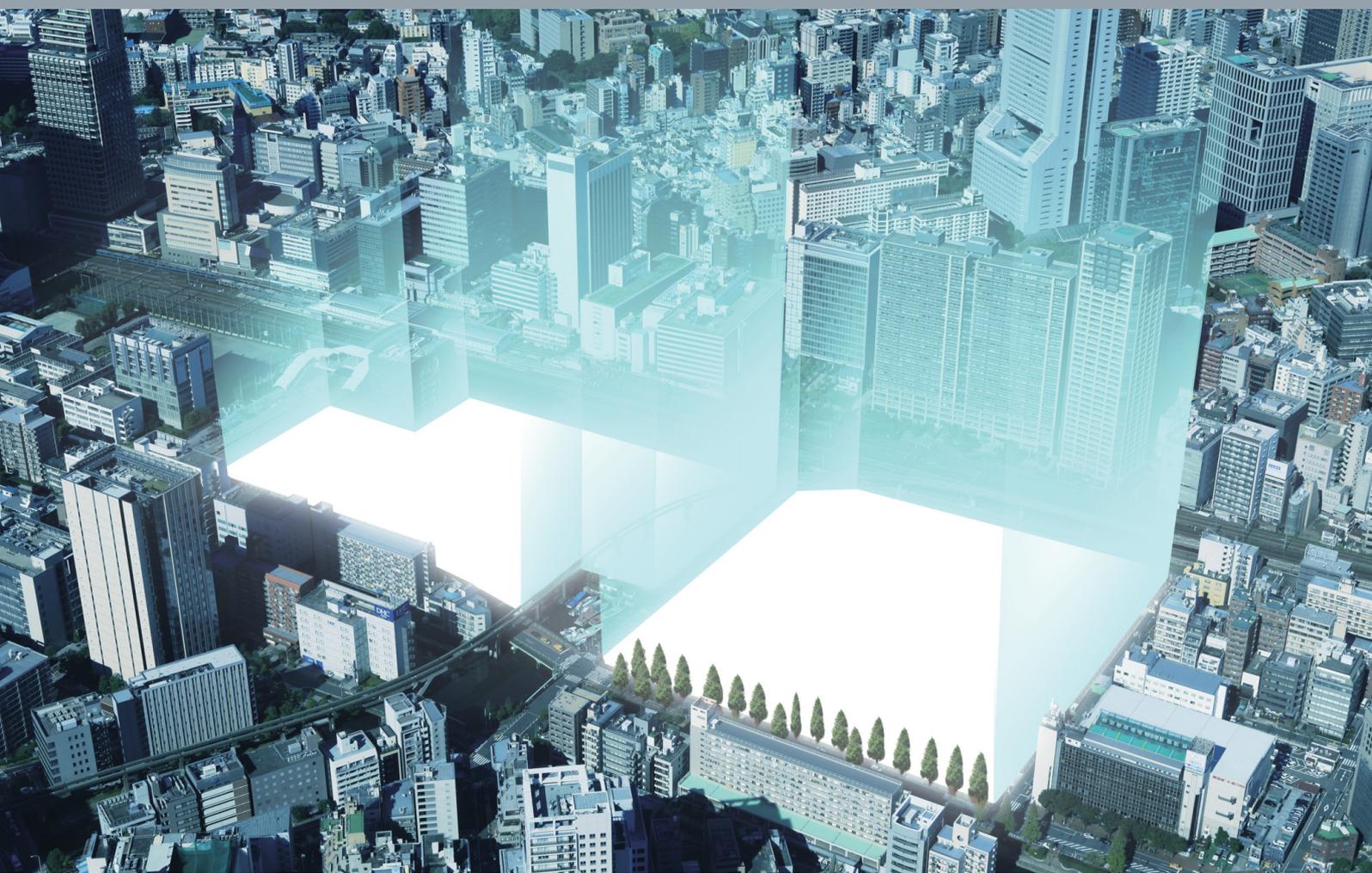


# 田町駅東口北地区 ～ 公民連携による街づくり～



芝浦から、新しい街がはじまる。

# にぎわいあふれる新しい芝浦へ。 公と民が連携し、国際都市・東京の シンボルとなる街が誕生します。

JR田町駅直結。

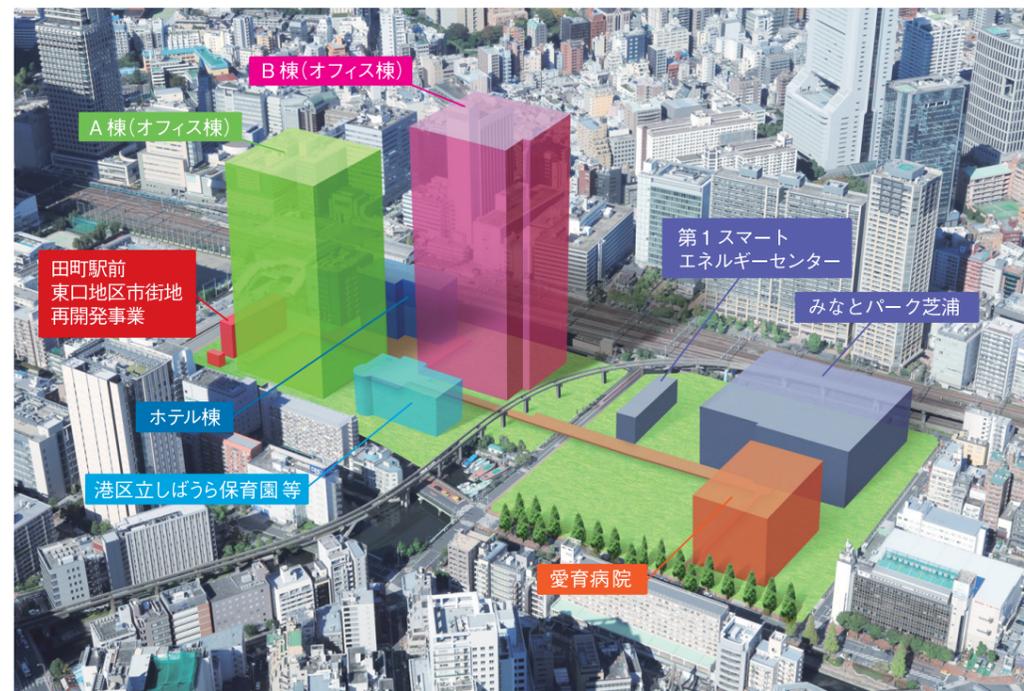
山手線沿線に残された8.2ha\*という大きな土地に、  
公と民が連携した東京の新しいシンボルとなる  
街が誕生します。

にぎわいを生む商業施設、オフィス、ホテル、  
地域の生活インフラとなる総合支所、スポーツセンター、病院、  
そして緑あふれる公園をバリアフリーの歩行者デッキで結んだ  
訪れる人にやさしく、多様な価値が交わる街づくりです。



2020年東京オリンピック、パラリンピック競技大会開催に向け、  
国際都市としてさらなる整備、開発が進む港区ウォーターフロントエリア。  
その新しい核となるプロジェクトが、いま進行中です。

\*「田町駅東口北地区地区計画」の対象面積



## 街づくりの方針

港区が策定した「田町駅東口北地区街づくりビジョン」に基づき、業務・商業・文化・交流・スポーツ・健康・医療など多様な機能が複合した魅力ある街づくりを目指しています。

業務、商業、文化、交流など、多様な機能が集積した地域の玄関口にふさわしい駅直結の複合拠点の形成

- 公民連携による一体的な開発により、多様な都市機能を集積
- 開発にあわせて駅前の広場空間を整備し、地域の玄関口を形成
- 駅から街区全体をつなぐ歩行者デッキを整備するなど、快適な歩行者ネットワークを形成



交通結節機能の強化を通じた地域交通の拠点形成

- 駅前広場の再整備により、バス・鉄道の乗継乗換の利便性を向上
- 開発にあわせて周辺道路の整備により、安全な歩行者空間を形成



先進的で総合的な環境モデル都市づくりのリーディングプロジェクト

- 都市計画公園芝浦公園の移転・拡張整備と、同公園跡地の緑化により、地域の憩いの核を形成
- 開発街区全体を積極的に緑化する他、地域冷暖房施設、スマートエネルギーネットワークの構築等を通じ、環境負荷の低い街づくりを実現



災害時の復旧・復興のための防災対策拠点の形成

- コージェネレーションシステムの導入、備蓄倉庫の設置等による災害時にも都市機能を継続する都市防災機能の強化
- 帰宅困難者の他、駅前に集中する避難者を誘導するためのオープンスペースや一時滞在施設の設置



## ビジョンを実現する土地区画整理事業の活用

田町駅東口北地区では、港区の街づくりビジョンを実現するため、土地区画整理事業の活用により宅地の再配置、道路・公園等の公共施設の整備、老朽化した鹿島橋の架替え整備等を行っています。

事業施行者である独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)は、土地区画整理事業の推進とともに、多様な街づくりの調整事項(再開発との調整、街区開発スケジュールの相互調整等)を解決するための提案・コーディネートを行っています。

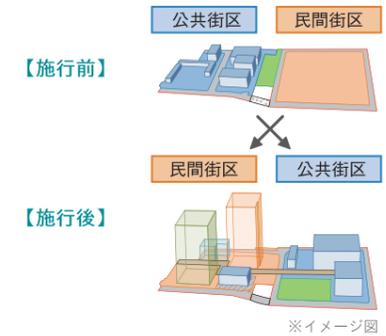
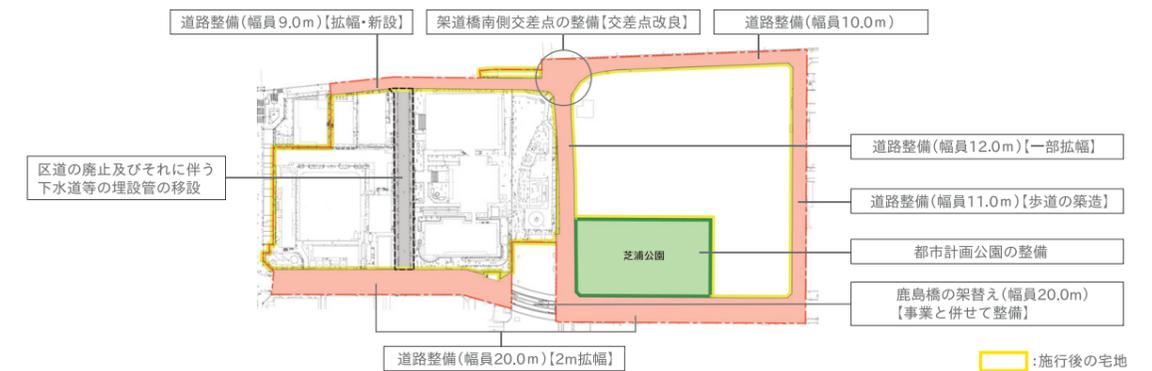
【事業概要】

- 施行者: 独立行政法人都市再生機構(個人同意施行)
- 土地利用:

		施行前/面積(ha)	施行後/面積(ha)
公共用地	道路	1.6	1.6
	公園	0.5	0.7
	小計	2.0	2.3
宅地		5.7	5.4
合計		7.7	7.7

※端数処理により一部計が合わない箇所があります。

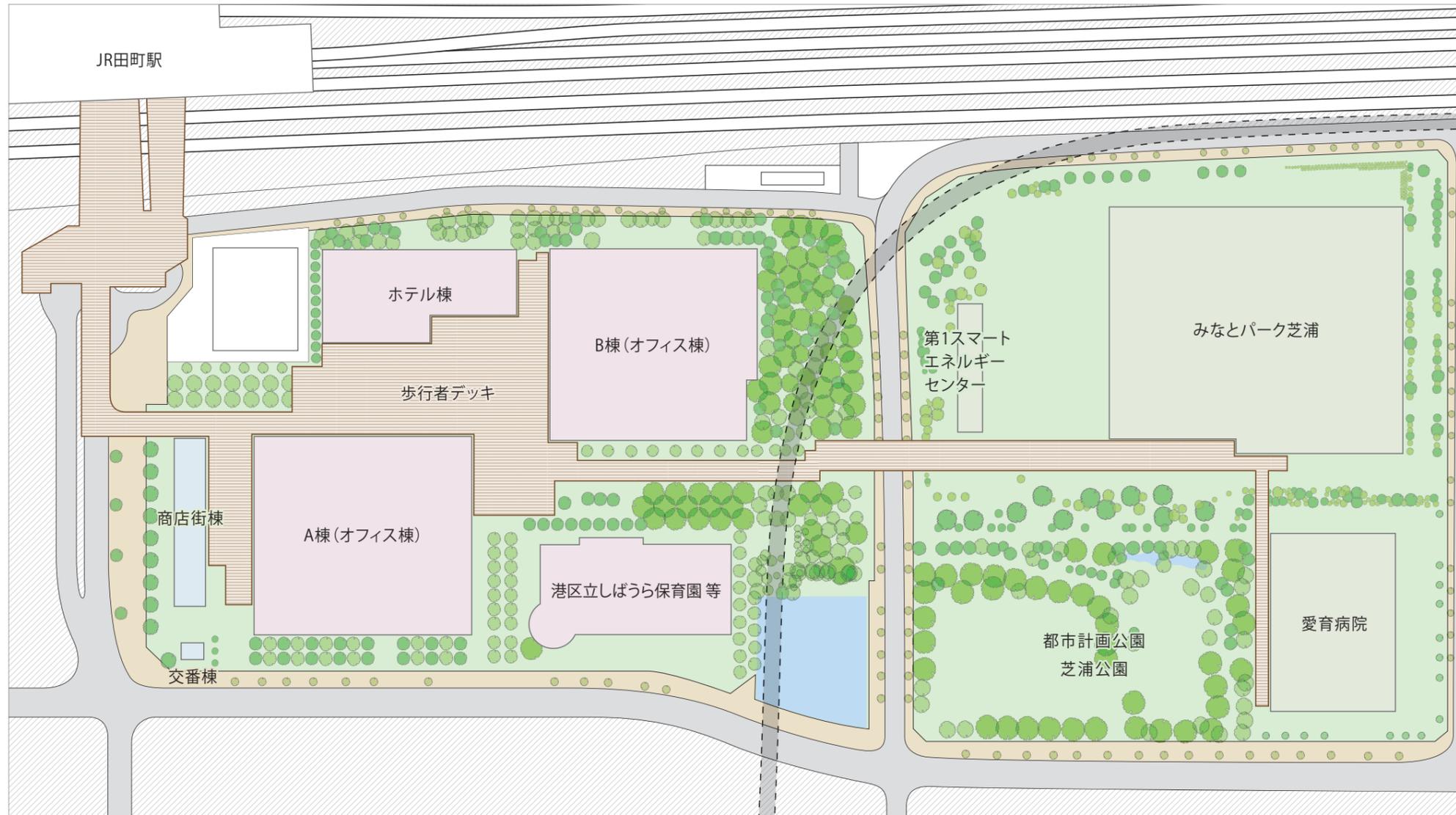
- 事業期間: 平成23~28年度(23年7月、事業認可)



※イメージ図

# ゾーニング & 施設計画

JR田町駅東口の駅前に、オフィス、商業施設、ホテル、病院、公共施設などを整備。それらを駅からバリアフリーの歩行者デッキでつなぐことで、訪れるすべての人に便利で優しい街づくりを進めています。



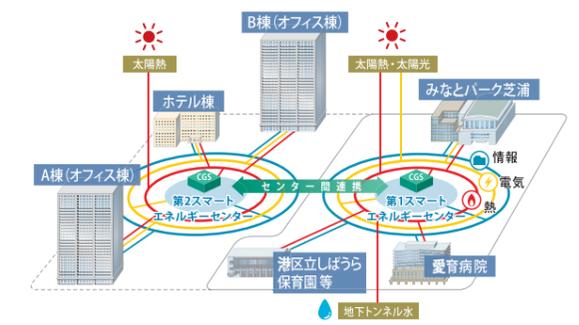
■田町駅前東口地区市街地再開発事業  
 【主要用途】 店舗、住宅、交番  
 【建築規模】 ●商店街棟：地上6階 地下1階 / 延床面積約3,800㎡ / 高さ約38m  
 ●交番棟：地上2階 / 延床面積約90㎡ / 高さ約10m

■(仮称)TGMM芝浦プロジェクト  
 【主要用途】 オフィス、店舗、ホテル、第2スマートエネルギーセンター、駐車場等  
 【建築規模】  
 ●A棟(オフィス棟)：地上31階 地下2階 / 延床面積約135,000㎡ / 高さ約180m  
 ●B棟(オフィス棟)：地上36階 地下2階 / 延床面積約145,000㎡ / 高さ約185m  
 ●ホテル棟：地上9階 地下2階 / 延床面積約11,000㎡ / 高さ約65m  
 ●港区立しばうら保育園等：地上6階 / 延床面積約6,600㎡ / 高さ約35m

■みなとパーク芝浦  
 【主要用途】 芝浦港南地区総合支所、消費者センター、介護予防総合センター、男女平等参画センター、港区スポーツセンター、第1スマートエネルギーセンター等  
 【建築規模】 地上8階 地下1階 / 延床面積約50,700㎡ / 高さ約55m

■愛育病院  
 【主要用途】 総合周産期母子医療センター、小児科・産婦人科他医療施設(病床数160床)  
 【建築規模】 地上10階 / 延床面積約17,600㎡ / 高さ約51m

**スマートエネルギーネットワーク**  
 高効率ガスコージェネレーションを中心に、熱と電気のネットワークを形成し、再生可能エネルギーを積極的に活用します。また情報のネットワークとしてSENEMS®(スマートエネルギーネットワーク・エネルギーマネジメントシステム)を活用し、地域の需給最適化を実現します。本地区では、建設時期に応じて公共街区に第1スマートエネルギーセンター、民間街区に第2スマートエネルギーセンターを構築し、それらを連携することにより、エリア全体の低炭素化と相互補完機能の強化による防災性の向上を図ります。



**田町駅前東口地区市街地再開発事業**  
 田町駅東口駅前の商店街建物を共同で建て替え、新しい交番棟とともに機能を更新します。



**(仮称)TGMM芝浦プロジェクト**  
 東京の国際競争力強化に貢献する高機能オフィスタワー2棟を核に、ホテル、商業施設等で構成される、東京ガス、三井不動産、三菱地所の共同プロジェクト。港区施設の保育園などと合わせ、多様な機能が集積する大規模複合開発です。



**みなとパーク芝浦**  
 アリーナやプールを備えたスポーツセンターや港区芝浦港南地区総合支所など、区民の生活をサポートする施設が入ります。

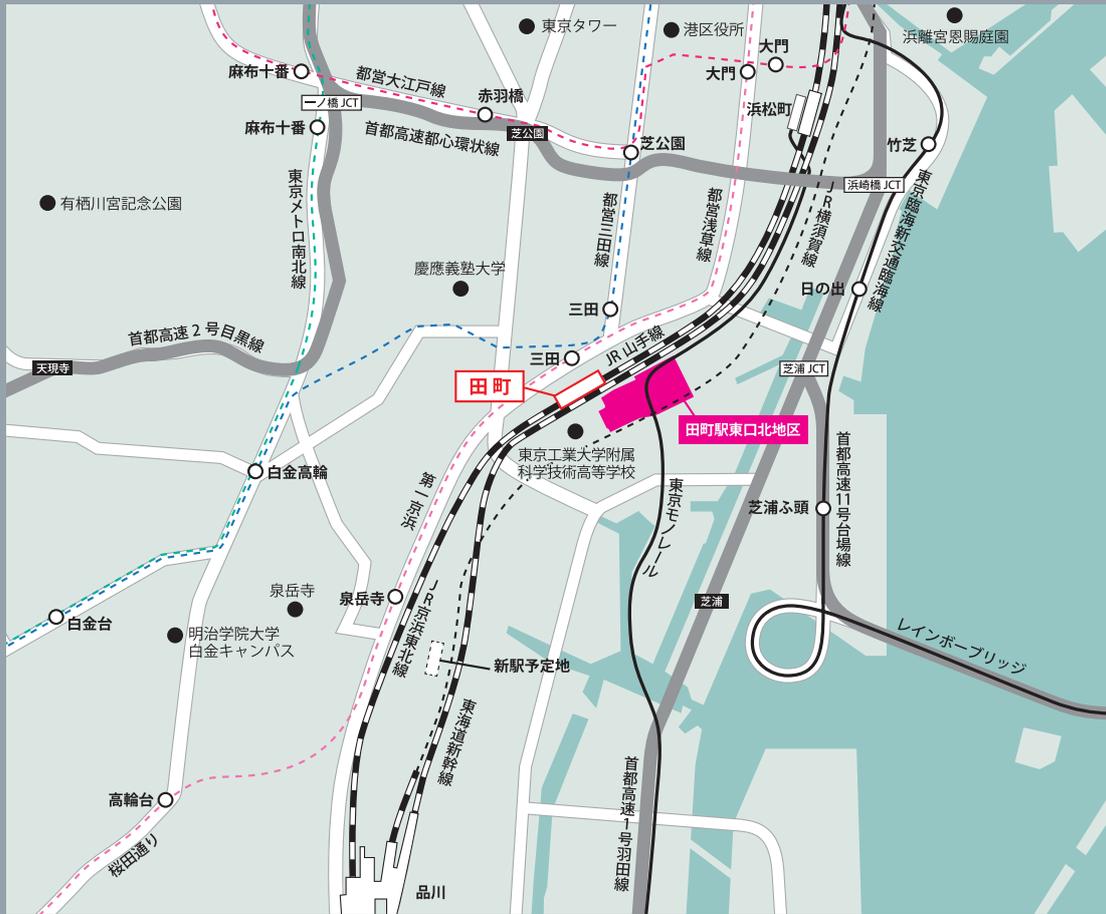


**愛育病院**  
 南麻布から移転して開院。移転前と比べ病床数が増加しました。周産期医療機能に加え、小児地域医療機能を拡充させた「総合周産期母子医療センター」が充実します。

※掲載されている図面・パースは2014年10月時点のものであり、実際とは異なることがあります。

## 交通アクセス

東京の主要駅と山手線で直結している他、羽田空港へのアクセスも良好。  
2020年には品川側に新駅が開設され、国際都市・東京の新しい顔としてますますの発展が期待されます。



### 【空港から】

- 羽田空港第1ビル→《東京モノレール/約18分》→浜松町→《JR山手線/約2分》→田町
- 羽田空港→《京浜急行/約17分》→品川→《JR山手線/約3分》→田町
- 成田空港→《京成特急スカイライナー/40分》→日暮里→《JR山手線/約20分》→田町

### 【主要駅から】

- 東京→《JR山手線/約8分》→田町
- 新宿→《JR山手線/約22分》→田町
- 上野→《JR山手線/約15分》→田町
- 横浜→《JR・京浜急行/約17分》→品川→《JR山手線/約3分》→田町

## 街づくりの経緯

- 平成19年10月 ●「田町駅東口北地区街づくりビジョン」を港区が策定
- 平成22年3月 ●港区・東京ガスからUR都市機構へ土地区画整理事業の施行を要請
- 平成23年7月 ●田町駅東口北地区土地区画整理事業が認可
- 平成24年1月 ●田町駅前東口地区市街地再開発準備組合が設立（平成18年6月に「地権者の会」として発足）
- 平成24年4月 ●土地区画整理事業区域の全域で仮換地の指定  
公共公益施設（みなとパーク芝浦）が着工
- 平成24年6月 ●愛育病院が着工
- 平成26年10月 ●都市計画（田町駅東口北地区地区計画）が決定

### 今後の予定

- 平成26年12月 ●みなとパーク芝浦が開設
- 平成27年2月 ●愛育病院が開院
- 平成27年 ●（仮称）TGMM芝浦プロジェクトが着工
- 平成31年 ●（仮称）TGMM芝浦プロジェクト全体竣工